



2024年3月期第3四半期

決算説明補足資料

2024年2月9日

株式会社アイ・ピー・エス

証券コード 4390

企業理念

OPEN DOOR

私たちは、いまだ誰も突破できていない障壁のある生活に密着した分野で、誰よりも先んじて事業機会を創造し、事業を展開し、産業構造を変え、あるべき社会を実現してまいります。

当社グループでは、日本およびフィリピンにおいて、最先端の通信技術を活用した通信サービスを提供することにより、経済の発展に貢献するため、積極的な投資を行い、事業の拡大を図っております。



報告セグメントについては、前期まで「国際通信事業」、「フィリピン通信事業」、「国内通信事業」、「メディカル&ヘルスケア事業」、「その他」の5セグメントとしておりました。

2024年3月期より、フィリピン国内海底ケーブル完成によるフィリピンにおける通信事業の業容の拡大を踏まえ、国際通信事業とフィリピン通信事業との連携がこれまで以上に高まることを見込まれることから、国際通信事業に統合いたします。併せて、「その他」としている事業の進捗管理も国際通信事業およびフィリピン通信事業を統括している通信事業本部にて実施していることから、国際通信事業に統合いたします。

これに伴い、前年同期のセグメントの数値も新セグメントに組み替えて表示しております。

(旧セグメント)	(新セグメント)	連結子会社
国際通信事業	国際通信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ InfiniVAN, Inc. ・ ISMO Pte. Ltd. ・ KEYSQUARE INC. ・ CarrierDomain Inc.
フィリピン通信事業		
その他		
国内通信事業	国内通信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社アイ・ピー・エス・プロ
メディカル&ヘルスケア事業	メディカル&ヘルスケア事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ Shinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporation (SLACC) ・ Shinagawa Healthcare Solutions Corporation (SHSC)

第3四半期決算概要

売上高：8,350百万円 営業利益：1,455百万円

事業状況

InfiniVANが共同建設したフィリピン国内海底ケーブル（PDSCN）が完成し、2023年12月に引き渡し完了。

SHSCが運営する人間ドック・健診センターが開院するなど、更なる成長に向けて事業拡大中。

業績については、前年同期には国際通信回線のIRU契約による大口案件の収益計上があったこと、レーシック件数が一部競争激化により減少となったこと等から、減収減益。

今期業績予想

売上高 ： 14,200百万円 （変更前14,000百万円）

営業利益： 3,800百万円 （変更なし）

※第4四半期にPDSCNの収益計上などを見込み、一部修正。

1 | 2024年3月期第3四半期 決算概要

【2024年3月期第3四半期 連結実績】

(単位：百万円)

	第3四半期				第3四半期累計			
	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	%	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	%
売上高	3,012	3,102	+89	+3.0%	8,796	8,350	▲ 446	▲5.1%
営業利益	690	529	▲ 160	▲23.3%	2,327	1,455	▲ 872	▲37.5%
経常利益	▲65	▲3	+61	▲94.4%	2,307	1,555	▲ 751	▲32.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	▲103	▲3	+99	▲96.6%	1,556	951	▲ 605	▲38.9%

2024年3月期第3四半期累計期間 実績分析

- 売上高：国際通信事業において前年同期は、1Q・2Qに大口のIRU案件の入金による収益計上があった一方、今期は大口の計上が無く、PDSCNの収益計上が4Qとなり、メディカル&ヘルスケア事業において、価格競争の影響を受け、前年同期比減少となった。その結果、前年同期比5.1%の減少。
- 営業利益：国際通信事業、メディカル&ヘルスケア事業が減収となり、前年同期比37.5%の減少。
- 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益：
営業利益が減益となったことにより、それぞれ前年同期比32.6%、38.9%の減少。

なお、第3四半期会計期間の経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、2023年12月末のドル円相場が141.82円（9月末149.58円）と円高になり為替差益が減少したことなどにより期間損益でマイナスを計上しております。

■ 国際通信事業

(単位：百万円)

	2023/3	3Q累計	2024/3	3Q累計	前年同期比
売上高	4,349		3,950		▲398 (▲9.2%)
営業利益	1,260		659		▲600 (▲47.7%)
利益率	29.0%		16.7%		—

前年同期には1Q、2Qに国際通信回線C2C回線の大口IRU契約案件の入金による収益が計上され、当第2四半期には計画通り計上が無く、法人向けインターネット接続サービスの課金顧客数が増加したものの、減収減益となる。

■ 国内通信事業

(単位：百万円)

	2023/3	3Q累計	2024/3	3Q累計	前年同期比
売上高	3,177		3,192		+15 (+0.5%)
営業利益	624		663		+38 (+6.1%)
利益率	19.7%		20.8%		—

AmeyoJ及び秒課金サービスを組み合わせたコールセンター向けサービスの新規開拓や、電話網のIP化（PSTNマイグレーション）に対応した通信機器の構築、システム開発およびサービスの提供を行ったことから、前年同期に計上したコロナウイルス感染症のコールセンター関係の売上の減少を吸収し、増収増益となる。

■メディカル&ヘルスケア事業

(単位：百万円)

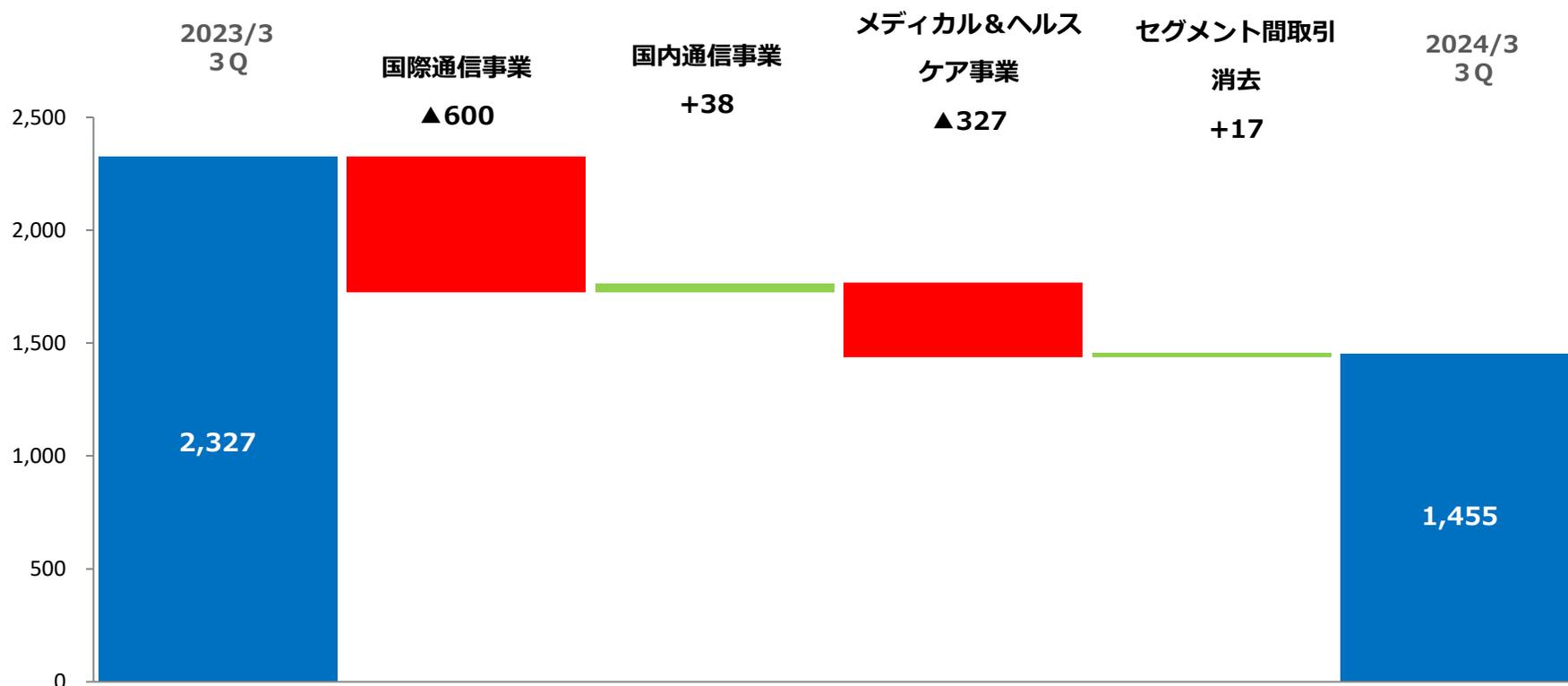
	2023/3	3Q累計	2024/3	3Q累計	前年同期比
売上高		1,270	1,207		▲62 (▲4.9%)
営業利益		453	126		▲327 (▲72.1%)
利益率		35.7%	10.5%		-

レーシックにおいて価格競争の激化があり、レーシックの件数が前年同期比減少となり、また、予防医療の認知を高める必要があり、人間ドック・健診センターの収益計上が遅れているため、先行投資の負担を吸収できず、減収減益となる。

営業利益増減（前年同期比）



国際通信事業が前年同期にIRU契約の大口案件の計上があったことにより、減益。メディカル&ヘルスケア事業においても、レーシック件数が減少となり、人間ドック等の先行投資に伴う減価償却費の増加などにより減益。



連結貸借対照表（サマリー）

(単位：百万円)

資産の部				負債・純資産の部			
	2023年3月期末	2024年3月期3Q	増減		2023年3月期末	2024年3月期3Q	増減
流動資産	14,270	13,980	▲ 290	流動負債	12,250	11,547	▲ 703
現金及び預金	6,881	4,619	▲ 2,261	買掛金	1,781	747	▲ 1,034
売掛金	2,631	3,448	816	借入金	6,170	6,436	266
リース投資資産	3,203	3,488	285	その他	4,299	4,363	63
その他	1,553	2,424	870	固定負債	1,014	3,306	2,292
				長期借入金	760	3,046	2,285
				その他	253	260	6
固定資産	10,839	14,751	3,912	負債合計	13,265	14,854	1,588
有形固定資産	8,171	11,939	3,767	純資産	11,864	13,920	2,056
無形固定資産	1,760	1,823	63	株主資本	8,905	9,475	570
投資その他資産	907	988	81	累積包括利益	449	1,699	1,249
繰延資産	19	42	23	新株予約権	263	265	2
				非支配株主持分	2,245	2,479	233
資産合計	25,129	28,774	3,645	負債・純資産合計	25,129	28,774	3,645

2 | 2024年3月期 業績予想について

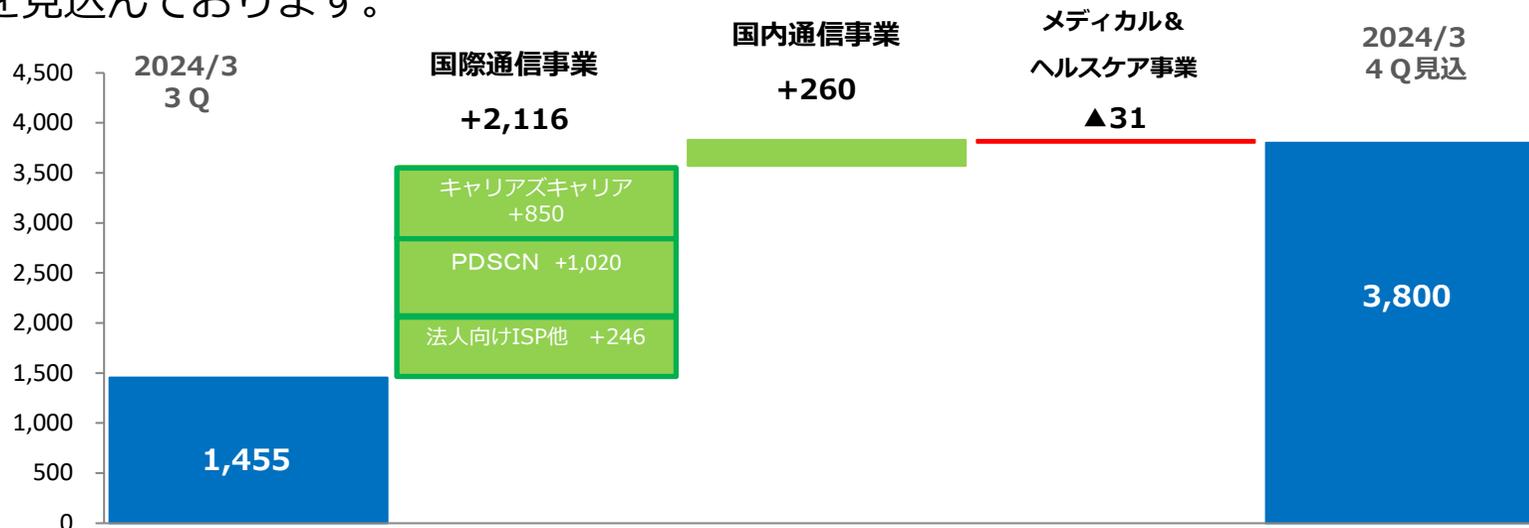
2024年3月期 業績予想について（連結）



（単位：百万円）

	2024年3月期 第3四半期連結累計期間 実績	2024年3月期 第4四半期連結会計期間 見込	2024年3月期業績予想	
			今回修正	2023年5月時点
売上高	8,350	5,850	14,200	14,000
営業利益	1,455	2,345	3,800	3,800
経常利益	1,555	1,995	3,550	3,550
親会社株主に帰属する 当期純利益	951	1,249	2,200	2,200

2024年3月期第4四半期には、昨年12月に完成したPDSCNの回線提供によりInfiniVAN, Inc.において営業利益約10億円が計上されており、連結決算では第4四半期の計上になります。また、キャリアズキャリア案件により収益の計上が見込まれることから計画どおり営業利益38億円の達成を見込んでおります。



2024年3月期 セグメント別業績予想の見直し



(単位：百万円)

セグメント		2023年3月期	2024年3月期予想		
			前回(11月)変更	今回(2月)変更	増減額
売上高		12,346	14,000	14,200	+200
	国際通信事業	6,380	8,150	8,500	+350
	国内通信事業	4,275	4,300	4,150	▲ 150
	メディカル&ヘルスケア事業	1,690	1,550	1,550	0
営業利益		3,311	3,800	3,800	0
	国際通信事業	1,865	2,760	2,782	+22
	国内通信事業	919	920	923	+3
	メディカル&ヘルスケア事業	536	120	95	▲ 25
	セグメント間取引消去	▲ 11	—	—	—
営業利益率		26.8%	27.1%	26.8%	—
	国際通信事業	29.2%	33.9%	32.7%	—
	国内通信事業	21.5%	21.4%	22.2%	—
	メディカル&ヘルスケア事業	31.8%	7.7%	6.1%	—

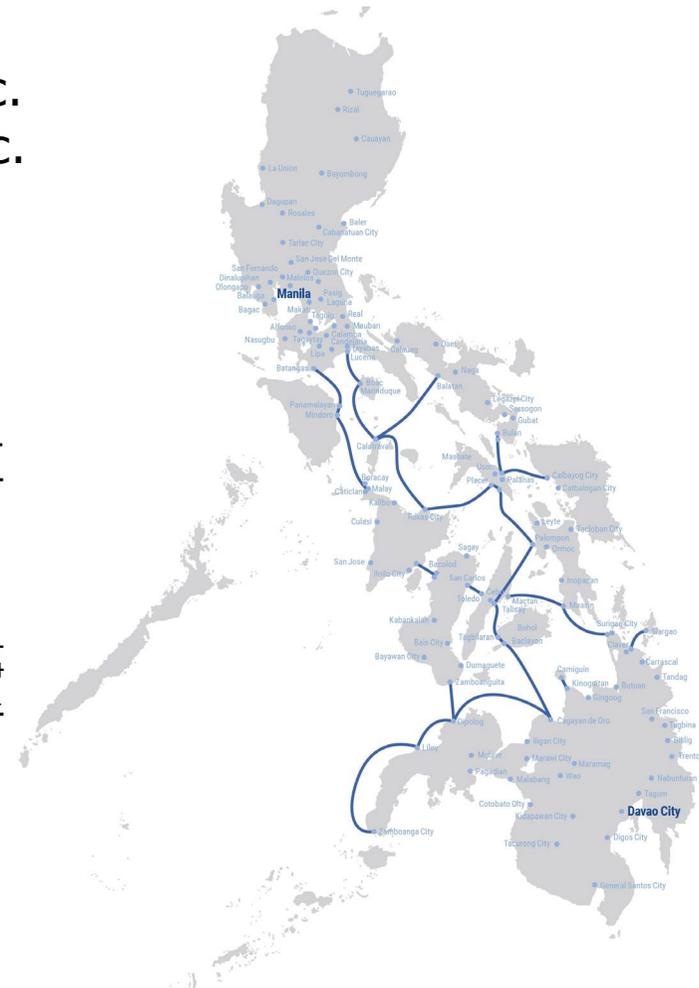
(注) 1.2023年3月期のセグメントの売上高・営業利益はセグメント変更に合わせて、組み替えております。

2.2024年3月期第3四半期に計上したセグメント間取引消去5百万円は、2024年3月期予想において国際通信事業に含めております。

3 | Topics (2024年3月期第3 四半期)

2023年12月に、フィリピン国内海底ケーブル（PDSCN）が完成し、お客様への提供を開始。

- 2022年7月より、当社子会社のInfiniVAN, Inc. はフィリピンの通信事業者Globe Telecom, Inc. およびEastern Telecommunications Philippines, Inc. と共同で建設を開始し、2023年12月に完成。
- ルソン島、ビサヤ諸島、ミンダナオ島を結ぶフィリピン国内を縦貫する回線で、その工事区間は 24 区間、ケーブルの長さは約2,500Km、人口カバー率は 96%に達する。
- この回線の敷設により、フィリピン国内での事業活動地域が拡大し、フィリピンの通信事業者やCATV事業者だけでなく、OTT事業者などとの取引の拡大を図る。



- フィリピン国内海底ケーブルプロジェクト (PDSCN) は、昨年12月に完成し、IRU契約に基づき対価を受け取っている部分に関して、収益計上が第4四半期から開始される。
 - 通信回線提供における他のIRU契約と同様、現金基準での収益計上
 - 現在締結済みのIRU契約では、25年間の使用権対価を3-4年程度で分割払い
 - 別途使用期間を通じてO&M Fee (使用権対価の4~4.75%) の受取
- 本件総投資額は65百万米ドル程度であり、これを3-5年程度で回収する予定。順次IRU契約を積上げている。

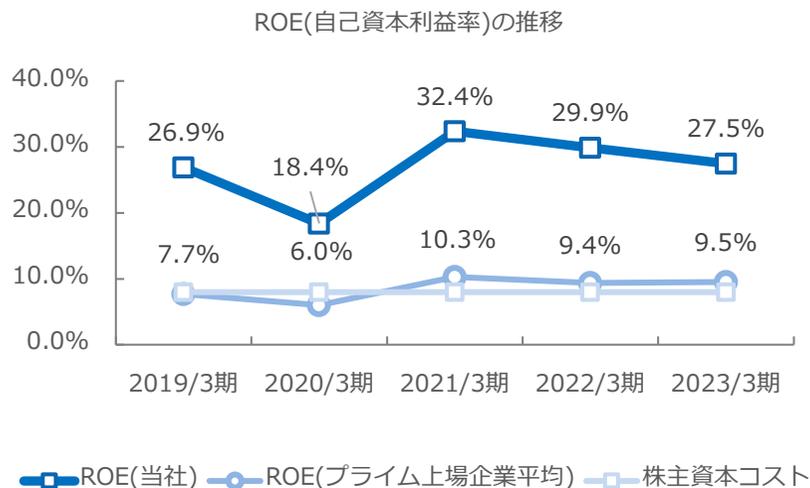
PDSCNにおける投資回収のイメージ



資本コストと資本収益性について

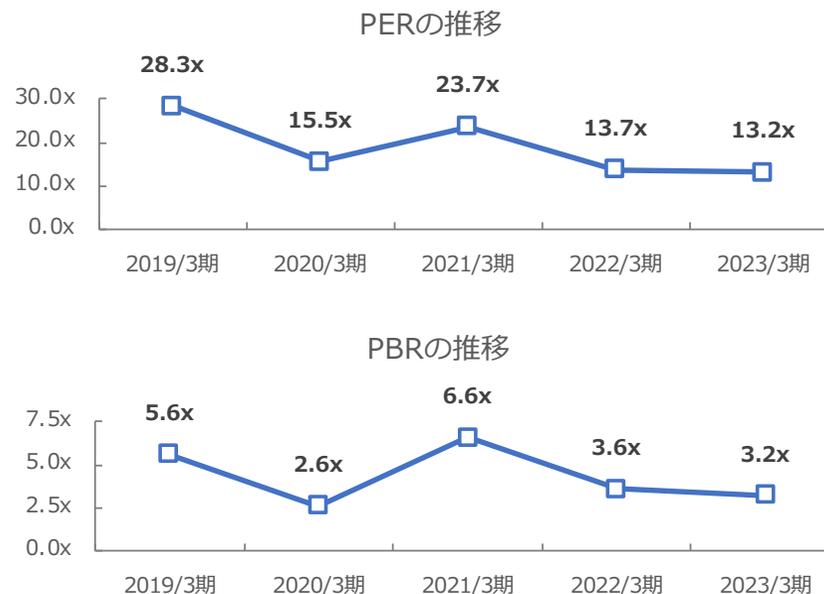
2018年の上場以降、順調に業績を拡大させるとともに高い資本収益性を実現

◆ ROEは概ね20%以上を維持し、過去5年の平均は約27%（株主資本コストは約8%と推定）



市場からの評価について

株価指標は低下傾向であり、成長企業としての評価を得られていないと史料



資本コストを超える資本収益性を達成しているものの、
 投資家からは、当社の持続的な成長可能性について十分な理解を得られていない可能性
 ⇒引き続き現在の資本収益性を維持するとともに、株主・投資家との積極的な対話が必要

高い資本収益性の維持

● ROE20%水準の維持

- ✓ 一般的に投資家が求めるROEの最低水準と考えられる8%を継続的に上回っており、今後も高水準を維持
- ✓ 過去5年のROE平均値は約27%
- ✓ 規律のある投資判断と短期間での投資回収に注力
 - 過去の投資実績においても、投資時点での計画に沿った投資回収を遂行



ステークホルダー・エンゲージメントの向上

● 中期経営計画の策定及び開示

- ✓ 今期本決算発表時を計画し策定準備中

● 投資家との能動的な対話機会を創出

- ✓ IR活動の基盤強化のため、専任部署への人材配置
- ✓ IRミーティング実施回数の増加
- ✓ IR活動の社内フィードバックを実施し、経営方針及び事業運営へ反映

● 継続的な株主還元の実施

- ✓ 配当性向20%を最低水準として維持し、将来的により高い配当性向を目指す

高い資本収益性を維持しながら、IR活動の更なる充実と継続的な株主還元の実施を図ることで、中長期的な企業価値向上を目指す

会社名
(英文社名)

株式会社アイ・ピー・エス
(IPS, Inc.)

設立

1991年10月

本社所在地

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8階

事業内容・
主な連結
子会社

国際通信事業：フィリピンのCATV事業者等に国際通信回線を提供
フィリピン国内での法人向けISPの提供、フィリピン国内通信回線敷設

ISMO Pte. Ltd.
InfiniVAN, Inc.
Carrier Domain, Inc.
KEYSQUARE INC.

国内通信事業：日本国内での通信サービスの提供

株式会社アイ・ピー・エス・プロ

メディカル&ヘルスケア事業：フィリピンでのレーシック・美容サービス・予防医療の提供

Shinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporation (SLACC)
Shinagawa Healthcare Solutions Corporation (SHSC)

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

《IRに関するお問い合わせ先》

株式会社 アイ・ピー・エス
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1
東劇ビル8階

TEL: 03-3549-7719 FAX: 03-3545-7331